

技術資料

ThreeBond1372D

嫌気性封着剤

1. 概要

ThreeBond 1372D は高回転モータの振動や発熱による軸ずれ対策として、硬化物のガラス転移温度を従来より高くした嫌気性封着剤です。ThreeBond 1372D は空気に触れている間は硬化せず、金属部品等の締結部に入ると急速に反応し重合硬化して、嵌合部の接着及びシールをします。また、はみ出した接着剤は紫外線を照射することによって硬化することができます。

2. 特長

- ①嫌気性封着剤嵌合用 高強度タイプ
- ②硬化物の高ガラス転移温度
- ③低粘度、浸透性良好

3. 用途

金属部品嵌合部の接着、シール

4. 性状

4. 1 液状時（硬化前）

試験項目	単位	特性値	試験方法	備考
主成分	—	(メタ)アクリル酸エステル	—	
外観	—	緑色	3TS-201-01	目視
粘度	mPa・s{cP}	110{110}	3TS-210-01	BL 粘度計 60rpm
比重	—	1.07	3TS-213-02	25℃

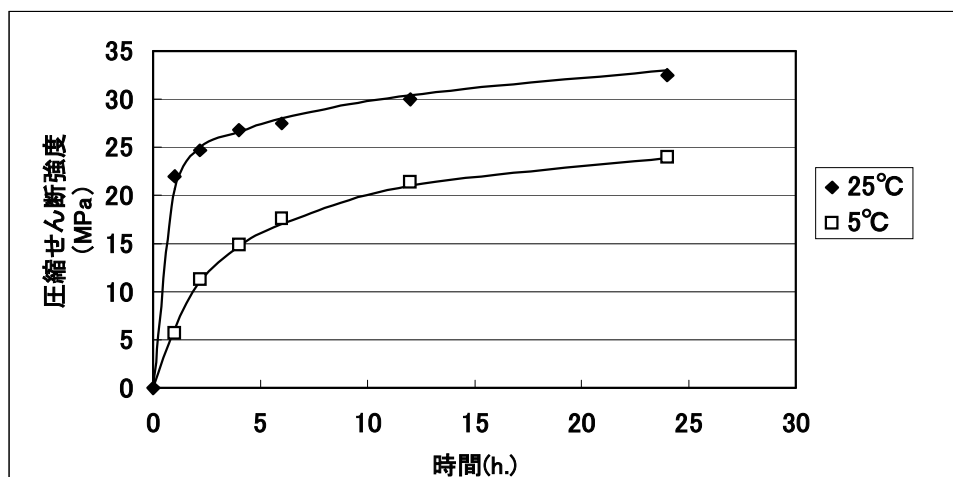
4. 2 硬化物

試験項目	単位	特性値	試験方法	備考
主成分	—	ポリアクリル樹脂	—	
接着強度 ※1	MPa {kgf/cm ² }	33.0{336.3}	3TS-305-01	鉄(s45c/ss41)
		30.5{311.1}		SUS304
		27.0{275.3}		アルミ
セットタイム	min.	3	3TS-220-05	1kgf 発現時間
ガラス転移温度	℃	147	3TS-304-21	※2

※1 強度測定試験片：接着面積 $6\Phi \times 15\text{mm}$ クリアランス 1/100mm

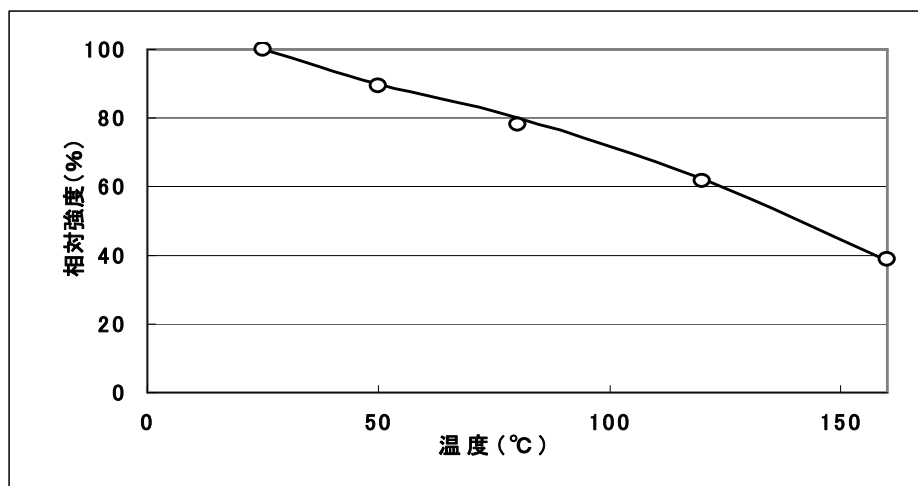
※2 DMS にて紫外線硬化物を測定：tan δ 値の最大点温度

5. 硬化速度



試験条件：嵌合用試験片(鉄)に ThreeBond 1372D を塗布し組み付け、25℃にて養生、各時間に圧縮せん断強度を測定する。

6. 熱時強度



試験条件：嵌合用試験片(鉄)に ThreeBond 1372D を塗布し組み付け、25℃にて7日養生した後、各温度に1時間放置後、その温度下で圧縮せん断強度を測定し、25℃の強度と比較した。

7. 使用法

- ・塗布個所の水分、油分を溶剤等でできるだけ取り除いてください。
- ・適量塗布し、組み付けてください。
- ・はみ出し部はたれ防止のために、紫外線で硬化することができます。（標準硬化条件 $30\text{kJ/m}^2\{3000\text{mJ/cm}^2\}$ 、酸素阻害のため表面にタックが残ります。）
- ・硬化が遅い材質の場合は、プライマーとして ThreeBond 1390E または ThreeBond 1390F をご使用ください。

8. 使用上の注意

工業用

(家庭用には使用しないでください。)

- 1) 記載データなどの技術情報については、当社規定の試験方法による実験値であり、十分信頼のおけるものでありますが、正確性と安全性についての絶対的な保証はいたしかねます。使用される方は、本品をご使用になる前に、用途、目的にかなっているかどうかを必ずご使用前にご確認ください。
- 2) 本製品の誤った取り扱いによる障害または損害については責任を負いかねます。
- 3) 硬化速度は光源の種類、照射距離によって変化します。ご確認の上ご使用ください。
- 4) 有害ですので、直接触れたり蒸気を吸ったりしないようにしてください。皮膚に付着した場合、体質によっては炎症を起こすことがあります。皮膚に付着した場合は、直ちに布、紙などで拭き取り石鹸水で洗浄してください。目に入った時は流水で15分くらい洗浄し、医師の診察を受けてください。
- 5) 人体に異常があった時は取り扱いをやめ、医師の診断を受けてください。また、アレルギー体質や肌が敏感な人は取り扱いを避けてください。
- 6) 有害成分を含むので、上水用、給湯用の配管には使用できません。使用方法や用途が適切かどうか充分確認の上使用してください。
- 7) 商品を他の容器に移したり、使い残しを容器に戻したりしないようにしてください。
- 8) 材質によっては、本製品が悪影響（クラック、腐食、溶解等）を与えることがあります。あらかじめ使用箇所および周辺箇所への影響を確認し、問題がある場合は使用しないでください。
- 9) 製品が固化するのでノズル等に金属製品は使用しないでください。
- 10) 変質や異物混入を防ぐため、使用後はきちんと蓋をして保管してください。
- 11) 光の当たらない部分や影になる部分は原則的に硬化しません。

9. 保管方法

- 1) 商品は光の当たらない5～25℃に保存してください。
- 2) 幼児、子供の手の届かないところで使用、保管してください。

10. 廃棄方法

- 1) 有害なガスを発生する恐れがありますので焼却しないでください。
- 2) 廃棄については専門の業者に依頼してください。

11. 法規制

消防法 第四類第三石油類 危険等級Ⅲ アクリレート系接着剤 火気厳禁

12. 商品形態

50 g 入り 青色プラスチック容器